

## 令和7年度 第1回 加古川市地域公共交通会議 議事概要

### ○開催概要

開催日時	令和7年6月6日（金） 午後2時から午後2時50分まで
開催場所	SHOWAグループ市民会館 大会議室
出席者	委員20名中16名（代理出席1名）、オブザーバー9名、事務局6名、傍聴2名
議事次第	<b>1 開会</b> 会議の趣旨 出席状況報告 <b>2 議案</b> 議案第1号 かこバスミニ・山手ルート of 延伸について 議案第2号 地域公共交通計画「別紙」の策定について <b>3 報告</b> 報告第1号 かこバスの定期導入状況について <b>4 閉会</b>

### ○議事概要

#### ■ 議案第1号 かこバスミニ・山手ルートの延伸について

##### <説明概要>

かこバスミニ・山手ルートを延伸し、現在公共交通不便地域となっている、神野町の日岡苑、西之山、石守の一部地域に停留所を新設する。さらに、周辺の既存路線バスとの連携により、広域へのネットワークを確保する。時刻表は全体的に見直しをしており、便数は現行の10便を維持する。

##### <意見・質疑応答>

(委員) 近畿安全衛生技術センター前は路線バスとの交通結節点という位置付けか。

(事務局) 交通結節点として考えており、路線バスへの乗り継ぎを想定している。

(委員) JR神野駅での加古川線との接続はどうか。

(事務局) JR神野駅は現行のルートでも交通結節点となっている。ダイヤについても可能な限り加古川線の発着を考慮しているが、上下線すべての便で合わせることは難しい。

(委員) 加古川線上下便への接続時間はどの程度か。

(事務局) 待ち時間が比較的短い便もあれば、30分以上の待ち時間が発生する便もある。

##### <議決> 議案第1号

原案承認 ※委員16名中、16名（全員）が同意

#### ■ 議案第2号 地域公共交通計画「別紙」の策定について

##### <説明概要>

令和8年事業年度に係る地域間幹線系統に係る地域公共交通計画「別紙」を策定し、国へ認定申請を行う。対象路線は、令和7年事業年度と同様の4路線で、①「土山駅～川北口～母里」路線②「姫路駅前～法華山一乗寺～社」路線③「上新田北口～天満小学校～土山駅」路線④「加古川駅～水足～

上新田北口」路線となる。認定後の軽微な変更等の事務的な手続きについては、事務局に一任いただきたい。

#### <意見・質疑応答>

(委員) この議案は複数市町にまたがる幹線系統の支援についての計画である。該当する市町で同様の協議がなされ、各市町が地域にとって大事な路線であるため支援するという位置づけをすることで、国から赤字の半分を補助するというものである。

(委員) 複数市町にまたがる路線ということだが、あくまで協議するのは、全体の内の加古川市の部分だけということか。また、当該路線は経営が非常に厳しいということは単純にイメージできるが、今後の見込みとして、さらに対象路線が増えた場合に、支援の方法が変わる可能性があるのか。

(委員) この議論で難しいのは、各市町のことだけを考えるのではなく、協力して支援するという計画でなければいけないという点である。また、国の補助についても、様々な条件のもと支援を行っており、例えば、利用者が少なすぎる路線や黒字化した路線等は補助対象外となる。

#### <議決>議案第1号

原案承認 ※委員 16 名中、16 名（全員）が同意

### ■ 報告第1号 かこバスの定期導入状況について

#### <説明概要>

令和7年3月の定期販売開始から4月30日までの定期購入者数は51人で、1ヶ月定期と6ヶ月定期の購入が多い。定期利用回数は合計で806回、区分別では、一般の利用が779回、障がい者割引で購入された方の利用が27回であった。年代別では、半数以上が10代・20代と若い世代が多い。

#### <意見・質疑応答>

(委員) 定期を導入して1ヶ月の実績に対して、事務局の見立てはどうか。また、加古川市は様々な情報発信ツールを持っていると思うが、情報展開の計画はあるか。

(事務局) 市や商工会議所のホームページ等に掲載し、概ね想定内であるが、周知期間については不十分な面もあり反省すべき点である。今後も市広報やSNS等を活用し、適宜周知していく。

以上